

令和6年度事業計画

1 管理運営事業

※括弧内は増減率

(1) 当初予算

① 歳出 458,923 千円 前年度当初予算比 220,791 千円増加 (92.7%)

主なもの

【博物館事業】

- ・特別展「たのしむ重力～落ちる ひっばる そして、曲げられる♪～」の開催 6,090 千円
- ・富山市山岳域自然調査（追加調査、2ヶ年度計画の2年目） 170 千円
- ・プラネタリウム特別番組の実施と投影番組の制作 9,856 千円
- ・「サイエンス・ラボ」の整備 21,400 千円

【設備・施設等の更新・修繕】

- ・非常用自家発電機の更新 92,500 千円
- ・地下外部建具の更新 5,200 千円
- ・屋上防水工事 77,700 千円
- ・館内照明のLED化 9,500 千円
- ・消防設備の更新 506 千円
- ・空調設備の更新 581 千円

② 歳入 223,679 千円 前年度当初予算比 206,763 千円増加 (1,222.3%)

【内訳】 観覧料等 16,875 千円
市債 205,300 千円

(2) 孫とお出かけ支援事業

令和6年度から朝日町が加わり、県内全市町村が対象となった。

2 調査研究事業

富山の自然の特性を解明する、自然と人との関わりを考えるという目標のもと、各分野でテーマを設定して行う。

地学系と生物系が共同で行う富山市山岳域自然調査は、2年延長としており、その2年目を実施。

研究報告第48号は7月5日発行。

研究発表会は令和7年3月予定。科学セミナーは3回程度開催予定（関係者に公開）。

分野別テーマ

岩石	富山県内の火山岩類の研究
	鷲羽岳火山の完新世の噴火活動に関する研究（富山市高山帯域の重点調査）
地史・古生物	富山県内産化石の基礎調査
	考現古生物学的基礎調査
	北陸地域の新第三系層序に関する研究
	県内産中生代化石調査
	恐竜化石調査
植物	富山県の植物多様性調査
	高山域の植生復元に関する研究
	富山県の蘚苔類相調査
	水生蘚苔類の分布・生態に関する研究
昆虫	富山県の昆虫相調査
	甲虫目コガシラミズムシ科の分類学的研究
	北陸地域を主とした希少水生昆虫の生息調査
脊椎動物	富山県の魚類・両生類・は虫類・鳥類・ほ乳類相調査
	富山市域の小型哺乳類相調査
	有峰地域の小型哺乳類相調査
天文	実写映像や3Dモデルを用いたドームコンテンツの制作方法の研究
	高感度ビデオカメラによる流星観測に関する研究
	白萩隕鉄と流星刀に関する研究
物理	蜃気楼の観測調査
	科学工作に関する研究
	展示装置に関する研究

化学	弥陀ヶ原の池塘の水循環と内部構造に関する調査
	酸性雨の調査
共通	富山市山岳地域自然調査
	海外博物館との交流
	博物館の展示と運営に関する調査
	研究報告第 48 号の発行

3 展示事業

展示を通して市民の自然と科学への関心と理解を深めていく。

特別展「たのしむ重力 ～落ちる ひっばる そして、曲げられる♪～」では、重力に関する実験や体験を通して科学を楽しむ素養を育む。

「日本星景写真協会写真展-星の風景 2025-」などの企画展を 7 回開催。

	展示会名	期間
常設展示	エントランス展示 おもしろ実験ひろば とやま・時間のたび とやま・空間のたび ノーベル賞受賞者コーナー 宇宙へのたび	通年
特別展・企画展	企画展 立山さんろく 自然の魅力	令和 6 年 3 月 2 日 ～5 月 19 日
	令和 5 年度富山県科学展覧会入賞作品展 アイデア浮かぶ科学の広場	令和 6 年 6 月 1 日 ～7 月 7 日
	特別展 たのしむ重力 ～落ちる ひっばる そして、 曲げられる♪～	令和 6 年 7 月 20 日 ～9 月 1 日
	第 45 回 SSP 展 自然を楽しむ科学の眼 2024-2025	令和 6 年 9 月 11 日 ～10 月 9 日
	第 32 回 富山県科学展覧会	令和 6 年 10 月 17 日 ～10 月 21 日
	企画展 ふしぎいっぱい自然と科学	令和 6 年 10 月 26 日 ～12 月 8 日
	第 32 回 私の身近な自然展	令和 6 年 12 月 21 日 ～令和 7 年 2 月 16 日
	企画展 日本星景写真協会写真展-星の風景 2025-	令和 7 年 3 月 1 日 ～5 月 18 日
ロビー展	流星刀	各 1～2 カ月
	標本をつくってみよう	
	干支の動物 巳（へビ） など	

4 資料収集事業

郷土を特徴づける標本、写真等の資料の収集を継続するとともに、資料データの公開を進める。

標本収集は、全分野で 5,000 点程度を想定。

標本データの公開においては、2,000 件のデータを作成し S-Net（サイエンスミュージアムネット）／GBIF（地球規模生物多様性情報機構）に提供予定。

分野別の収集内容

岩石	県内外の岩石・鉱物・砂資料収集
	収蔵資料の整理およびデジタルアーカイブ化
地史・古生物	県内及び近県の化石資料整理など
	恐竜化石のクリーニング・整理
	大山地域恐竜足跡露頭の保全
植物	富山県の植物多様性(維管束植物・コケ植物)解明に必要な資料・情報の収集整理
	標本交換による資料の充実
	標本データを加工して S-Net 及び GBIF に提供
昆虫	富山県の昆虫に関する文献と標本の収集及び整理
	標本データを加工して S-Net 及び GBIF に提供
脊椎動物	脊椎動物の標本(液浸・骨格・剥製)収集・整理
	脊椎動物に関する映像資料の収集
天文	星雲・星団・銀河・月・惑星・流星・星座・星・月の動きの撮影
物理	蜃気楼、雲等の気象現象の写真撮影
	科学工作資料収集

5 普及教育事業

(1) 事前に申し込みを必要とする行事

区分	行事名等	回数
とやまの自然探検	初夏の美女平など	7
科学教室	小さなコケ植物の観察会など	6
教職員向け	教員のための博物館の日	1
星空観察会	定期観察会(毎週土)、特別観察会(中秋の名月など)	約 50

【連携】 富山県情報産業協会	親子で挑戦！ロボットプログラミング教室	1
【連携】 自動車技術会	小型エンジン分解組み立てなど	2
【連携】 富山地方気象台	気象台へ行こう 天気の実験と予報の仕事	1

(2) 入館者対象の行事

区分	行事名等	日間
定例的な実演もの	サイエンスライブ（毎週土日休日）	約 100
	夏休みクイズラリー（平日）	21
特別企画 ロボット実演	高校生が作ったロボットとあそぼう 協力：不二越工業高校	2
	ムラタセイサク君・ムラタセイコちゃん 協力：株式会社村田製作所	4
特別企画 科学イベント	サイエンスライブまつり	1
自由研究向け行事	自由研究のすすめかた相談会	9
	標本の名前を調べる会 &自由研究のまとめ方相談会	1
【連携】 富山大学実験講座	ふれあい実験 with 富大生（仮題）	2
【連携】 富山水素エネルギー促進協議会	実験！水素でロケットを飛ばそう	1
ボランティアによるもの	読み聞かせ	約 8

(3) レファレンス（科学の質問への回答）

館の重要な市民サービスと位置づけており、今後も丁寧な対応を行っていく。

(4) 移動ミニ博物館の貸出（貸出用展示 40 セット）

(5) 市内小学校へのオンライン授業参加

学芸員によるオンラインでの授業参加を申込み制で実施する。

自然や科学の質問回答や、立山登山の事前学習として立山の自然の話等の予定。

(6) 出版物発行

普及雑誌「とやまと自然」	4 回	県内小・中学校等
リーフレット「とやまサイエンストピックス」	6 回	市内小・中学校等
リーフレット「星空だより」	12 回	市内小・中学校等

(7) 学校向けウェブコンテンツ

立山登山の参考資料 室堂平の高山植物などを紹介するページ
展示学習ワークシート (54種類)

(8) その他

SDGs-ESD 富山シンポジウムへの参加
市役所出前講座

6 プラネタリウム投影事業

(1) 一般投影の映像番組

区分	番組名	期 間
一般向け	キトラ古墳壁画 天文図と中国星座の世界	令和6年3月1日～ 6月30日
	まだ見ぬ宇宙へ	令和5年10月1日～ 令和6年9月30日
	【新】 3-2-1 LIFTOFF! ハムスターのスペースアドベンチャー	令和6年7月1日～ 令和7年6月30日
	【新】 ORIGIN～太陽系のはじまりを求めて～	令和6年10月1日～ 令和7年9月30日
子ども向け	ゲゲゲの鬼太郎～河童のテラフォーミング～	令和6年3月1日～ 令和7年2月28日
	【新】 忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント NEXT 土星めぐりでシャッターチャンスの段	令和7年3月1日～ 令和8年2月28日

※一般投影の前半の星空解説は、今年度も時季に合わせたものを自作する。

(2) 幼児向け・学習投影

区分	番組名	期 間
幼児向け投影	たなばた	令和6年6月1日～7月9日
学習投影(小4)	星の動き・月の動き	令和6年9月中旬～12月中旬

(3) 特別番組

区分	テーマ等	回数
学芸員と星空さんぽ	毎週土日休日に1回	約100
スペシャル プラネタリウム	・スペシャルトークショー「まだ見ぬ宇宙へ」 ～上坂監督の描く宇宙の姿～ ・自然科学と小説の世界～星と人の化学反応～（仮） ・クラゲタリウム ・星空とCDコンサート ・熟睡プラネタリウム ・クリスマス など	約16
キッズ プラネタリウム	たなばた おつきみ クリスマス	6

※富山市民文化事業団主催のプラネライブを2回予定している。

7 恐竜化石事業

現地の化石露頭面を観察する「夏休み恐竜探検隊」を8月に実施。これに合わせて化石露頭面周辺の除草をする。

重要な化石保護のため、適宜樹脂によるコーティングを行う。

8 情報・広報事業

富山市広報や各種メディアに、企画展やプラネタリウム、イベントなどの情報を提供する。また、館ホームページやSNSを活用して積極的な広報を行う。特に学芸員の活動をフェイスブックやXを活用してタイムリーに広報する。

9 他機関への協力等

館の活動趣旨及び業務との関連性を検討した上で可否を判断。

(1) 研修等の受入

研修名	人数
博物館実習（大学生）	10
富山大学博物館展示論実習	約 30
インターンシップ（大学生、短大生）	未定
社会に学ぶ「14歳の挑戦」	5
職場体験（片山学園中学校）	5
全国プラネタリウム研修会 2024・富山	約 120

(2) 講師派遣（富山市民大学、富山大学博物館展示論など）

(3) 会議・研究会（県科学展準備委員会、SDGs-ESD 富山シンポジウムなど）

(4) 委員等委嘱（立山博物館運営委員、全国科学博物館協議会理事など）

10 ボランティア事業

(1) 登録人数 87人

(2) 総活動時間 前年度と同程度以上を予定（約 1000 時間超）

(3) 来年度登録者の募集 令和7年1月～2月（新規および継続）

11 ジュニア科学賞・とやま事業

第22回「ジュニア科学賞・とやま」の選考及び表彰を実施する。

12 友の会

事業企画や講師派遣等をとおして、友の会活動に協力する。令和6年（1～12月）の友の会イベントは15回の予定（案内チラシ参照）。

13 科学博物館整備事業

展示更新計画の第1期として、休憩室隣の工作教室をリニューアルし、市民と学芸員・研究者とのサイエンスコミュニケーションを深める場とするサイエンス・ラボ（仮称）を整備する。（富山市科学博物館展示更新計画概要版 参照）

整備が完了する令和7年3月下旬から週末を中心に、サイエンス・ラボ（仮称）で科学実験や標本を使った解説イベントなどを行う。